事例No.	2248
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	石川県金沢市

事例区分	DX

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・ICT ・組織改革

事例種類	DX

事例内容・タイトル

デジタル戦略都市金沢の実現に向けて

出典

地方自治研究機構：自治体D X のマネジメント手法（令和３年度）

<調査研究事業：自治体 DX のマネジメント手法（令和３年度）>

〇自治体 DX

・マネジメント手法

取組団体：石川県金沢市

取組内容：デジタル戦略都市金沢の実現に向けて

１．金沢市の概要

人口：460,379 人（令和４年６月１日時点）

職員数（一般行政部門）：1,655 人（令和３年４月１日時点）

総面積：468.64 ㎢

図表 1 金沢市の位置図



出所：金沢市ホームページ

２．取組の背景・目的

（１） オープンデータ・シビックテック推進

① オープンデータ

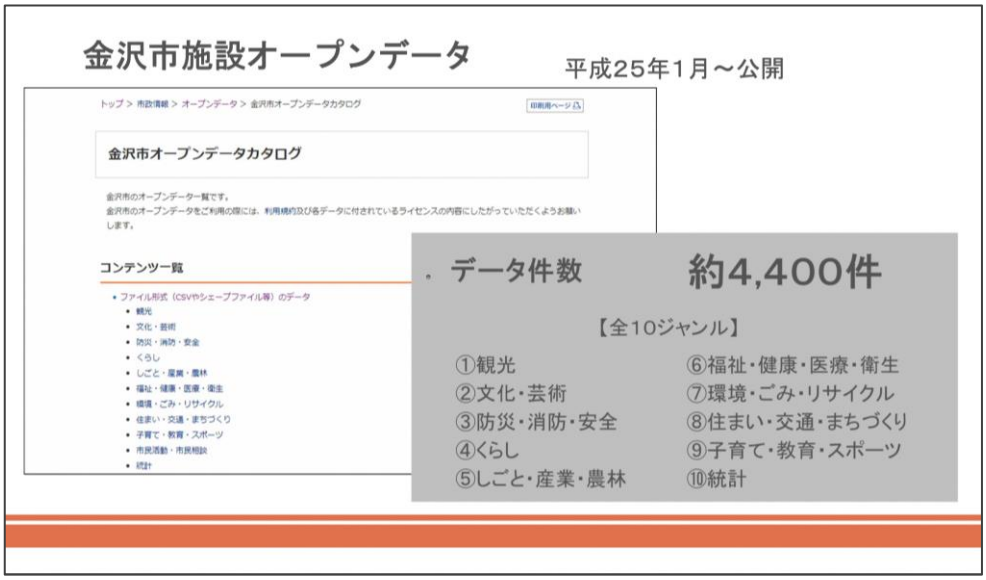
金沢市では市長のトップダウンにより IT 活用を推進する過程で、公共データをオープンデータとして公開することとした。平成 24 年度、ICT 推進室を新設し、新規事業として金沢市公式

アプリを開発するに当たり、市有施設データをオープンデータ化して公開することもきっかけとなった。

これまで金沢市ホームページ上で公開してきたオープンデータの一層の活用を目指し、金沢市オープンデータポータルサイトは令和４年１月にリニューアルされた。リニューアル内容としては、これまで課題であった市民が利用しやすい国推奨フォーマット形式への対応や、ホームページの視認性や公開データの検索性の向上である。

オープンデータの活用事例としては、「トイレあるんけ」や「古今金澤」がある。「トイレあるんけ」は、金沢市内のトイレを地図上の場所や設備から探せるサービスである（令和５年２月現在では情報の提供は終了している）。「古今金澤」は、古地図と現在地を重ね合わせて表示することで、戦災を免れた寺社仏閣、江戸時代の道筋や用水などを想像しながら金沢の町を歩くことができるアプリケーションである（Linked Open Data チャレンジ Japan 2017 アプリケーション部門優秀賞を受賞）。

図表 2 金沢市オープンデータの公開内容



出所：金沢市提供資料（以下、同じ）

図表 3 オープンデータの活用事例



② シビックテックの推進

IT とデザインの力で地域の問題解決を図る一般社団法人 Code for Kanazawa の協力も得ながら、オープンデータの活用促進とシビックテックの推進を図っている。

【オープンデータ・シビックテック関連事業】

オープンデータの活用促進と人材育成を目的として以下の取組を実施した。

事業名	内容
5374(ゴミナシ).jp アプリ開発	・ゴミ出しの分かりにくさを、IT でシンプルに解決する。 ・オープンソース化により全国で展開 ・金沢市は環境部門からのデータ提供の他、周知面でも協力 ・5374App(ゴミナシアップ)制作協力
インターナショナルオープンデータデイ	・オープンデータのセミナーや自治体の取組事例、オープンデータを考えるワークショップを実施 ・金沢市は Code for Kanazawa との共催事業として参画
KANAZAWA スマホアプリコンテスト(平成 23～26 年度)	・「オープンデータ部門」を新設(平成 25 年度) ・応募条件は「金沢市のオープンデータ」を利用していること。
KANAZAWA オープンデータアプリコンテスト(平成 27～28 年度)	・コンテスト用オープンデータを正式に金沢市のオープンデータに。 ・統計関連、交通関連、環境(ごみ)関連、公衆無線 LAN 関連、金沢市立玉川図書館近世史料館関連
KANAZAWA シビックテックコンテスト(平成 29～令和元年度)	・ICT とオープンデータ ・地域課題の解決につながるアプリケーションやサービス ・アプリ部門、アイデア部門の2部門
KANAZAWA アプリ開発塾 (平成 26 年度～令和元年度)	・金沢市内及び近郊の学生あるいは学生グループを募集 ・「金沢を元気にするアプリケーション」をテーマに自ら地域の課題を発見、解決するアプリを開発 ・エンジニアやデザイナーなどによるセミナーや個別アドバイスを受けられる。

また、さらなるシビックテックの推進と人材育成を目指し、令和２年に「金沢シビックテック推進協議会」が設立された。金沢シビックテック推進協議会の事業は以下のとおりである。

事業名	内容
Civic Tech Summit KANAZAWA（平成 29 年度～）	シビックテック活動を市の内外に広く周知するためのイベントとして開催
オープンデータ官民ラウンドテーブル	データ活用側の意見を反映することを目的に、民間企業や市民など、データの活用を希望する者とデータを保有する行政担当者が集まって議論をする場。市町村で初開催。
地域課題解決マッチング事業	解決したい地域課題を市民等から募り、ICT を活用して解決する「作り手」を募集する。課題提案者と作り手によるマッチングイベントを開催し、開発支援を行う。
シビックテック塾	将来のシビックテックプレイヤーを育成するために、学生・社会人を対象に、「ノーコードツール」を活用したアプリ開発の講義・演習を実施する。
情報発信事業	協議会事業やシビックテックの事例等を発信している。

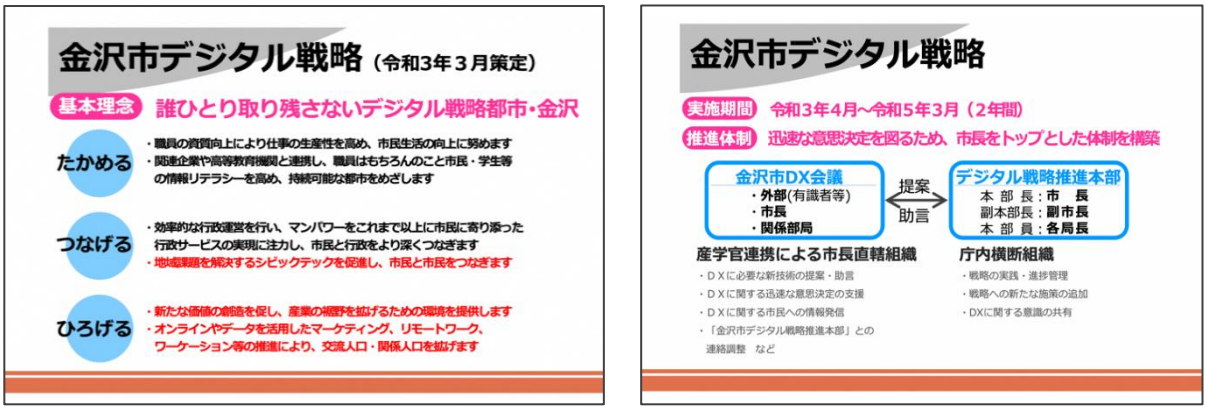
（２）　金沢市デジタル戦略と DX 人材の育成

令和３（2021）年３月には「金沢市デジタル戦略」を策定し、２年間で集中的にデジタル化を実践することとした。基本理念として「誰ひとり取り残さなかデジタル戦略都市・金沢」を掲げ、「たかめる」、「つなげる」、「ひろげる」をキーワードとしている。このうち、「たかめる」では職員の資質向上が含まれている。

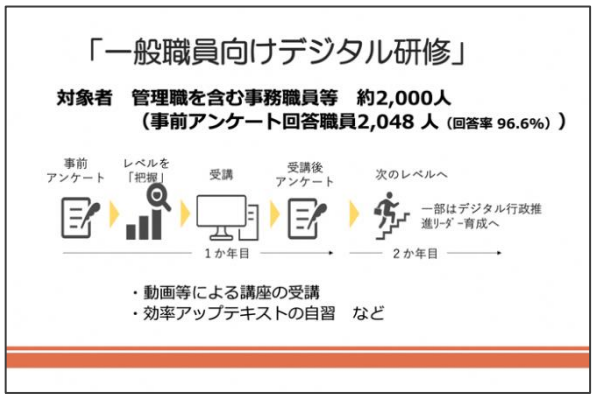
行政の DX には業務プロセスの見直しとデジタル化の取組が不可欠であり、そのためには全庁的な情報リテラシーの向上が不可欠である。２年間掛けて全職員約 2,000 人を対象として、動画やテキストを用いた研修を実施する。例えば、令和４年度の一般職員向けには、DX 関連講義・講演として、データ利活用や EBPM といったテーマの動画による研修を実施した。また、事務を行う際の作業効率の向上につなげるため、日々使用しているツールのノウハウや知っておくべきことを幅広くまとめた「効率アップテキスト」による学習も促している。

さらに、デジタル化推進の中心となるリーダーの育成にも注力しており、各局から 20 名を選抜（各局で１～２名を推薦。推薦要件としては、▽２～３以上の課を経験している概ね 30 歳代の職員▽前向きに業務改善に取り組む意欲がある▽ICT に関心を持っていること）し、約半年間で約 200 時間のデジタル行政推進リーダー育成研修を実施した。将来的には 100 名のリーダーの育成を目指している。デジタル行政推進リーダー育成研修のポイントは、デジタル技術の習得及び業務改善力の向上である。デジタル技術の習得については、高度なプログラミングの知識や技術がなくても職員が迅速にシステムを開発できるアプリケーション（ローコード・ノーコードツール）の活用を目指す。また、業務改善力の向上については、利用者の一連の行動に着目してサービス全体を設計できるような広い視野をもったサービスデザイン思考の習得を目指している。今後はこのリーダーたちが DX アドバイザー、DX スペシャリストへと成長することを期待している。

図表 4 金沢市デジタル戦略の基本理念及び推進体制

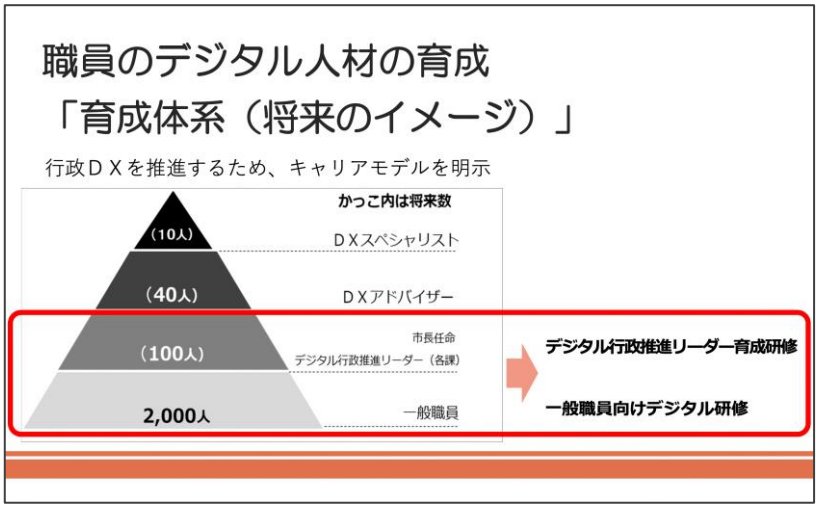


図表 5 デジタル人材育成の取組





図表 6 デジタル人材の育成「育成体系（将来のイメージ）」



（３）　ICT を活用した地域コミュニティの活性化

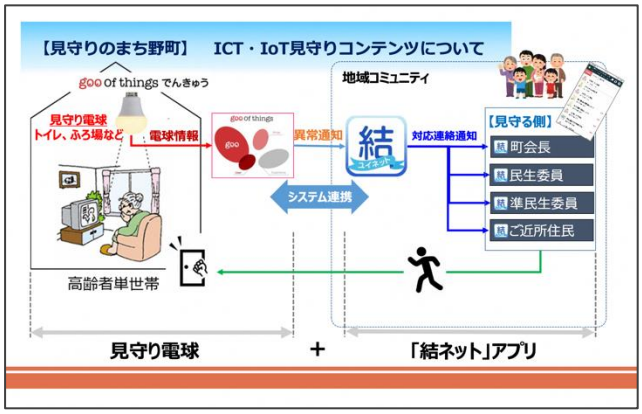
地域内の情報共有と発信、役員の負担軽減及び若い世代の活動への参加を促進するため、地域コミュニティ活動の ICT 化が推進されている。

金沢市と金沢市町会連合会、地元企業の３者で連携協定を締結し、地元企業が開発したアプリ「結ネット」の機能を活用し、地域コミュニティの活性化及び市民の利便性向上を図っている。

また、「見守り電球」の利用状況を検知するサービスと連携させて高齢者単身世帯の異常を近隣住民など地域で見守る環境の構築に向けて取り組む町内会もある。

図表 7 ICT を活用した地域コミュニティの活性化





３．成果・課題

（１）　オープンデータ活用における民間企業等との連携

現在のオープンデータポータルサイトでは、行政が保有するデータしかポータルサイトに登録ができないが、市民や民間企業、大学の研究機関等もポータルサイトにデータを登録できる連携機能を追加することが望まれる。

（２）　シビックテックのさらなる浸透

ICT に関心がある市民へのシビックテックの浸透は進んできたものの、市民団体等へのシビックテックの認知度はまだ低いと思われる。また、様々な課題を抱えている市民団体等は多く存在する。そこで、今後、市民団体等へのシビックテックのさらなる浸透が望まれる。また、課題を持つ市民が自ら ICT を活用して解決できるようにこれまで以上のシビックテック活動に対する支援が期待される。

【参考】

金沢市ホームページ

・オープンデータの各種取組
https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/digitalgyoseisenryakuka/gyomuannai/8/2/index.html

・オープンデータの活用事例
https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/digitalgyoseisenryakuka/gyomuannai/8/2/5086.html

・金沢市デジタル戦略
https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/digitalgyoseisenryakuka/gyomuannai/7/1/6484.html

・金沢市における地域 ICT プラットフォームサービス「結ネット」の活用に関する協定
https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/shiminkyodosuishinka/gyomuannai/3/4/8156.html